

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立紫錦台中学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

住所 〒920 -0938

金沢市飛梅町3-30

E-mail : shikindai-j@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shikindai-j/

児童生徒数：男子 213 名 女子 206 名 合計 419 名

児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自ら学ぼうとする意欲と向上心を持った、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」を学校理念として、ESD を教育活動全般での推進と、学び合いの推進を全教職員で共通理解し、ESD の実践を通して持続可能な社会の担い手としての意識を育み、自ら考え、行動することができる生徒の育成を目標とした。具体的には、①伝統文化、国際理解、環境に係わる学習、②金沢ふるさと学習、③生徒会に関わる活動を行った。

### ① 伝統文化、国際理解、環境に係わる学習

本校は総合的な学習の時間を「飛梅タイム」と呼び、伝統文化、環境、国際理解の3つを柱として学習を進めている。担当教員や外部講師の指導のもと、金沢の伝統文化を学ぶ、ふるさと学習に力を入れている。また、世界に目を向け身近なところから環境問題に取り組むことができる生徒、世界に目を向けたり金沢を世界に発信したりすることができる生徒の育成を目指して活動している。



伝統文化では、能や狂言、南京玉すだれ、茶道、上野町餅つき踊りなど、金沢や地域の伝統を実技中心で学んでいる。国際理解では、青年海外協力隊の方による講演から、協力隊の方々が実際に訪れた国々の様子を聞いた。また本校では、「飛梅タイム」で学習した成果を他グループの生徒や地域の方々に向けて発信する「飛梅祭」を開催している。「飛梅祭」は生徒にわかりやすく伝えられるよう工夫した発表会となっている。



## ② 金沢ふるさと学習

1年生では青年海外協力隊の方々実際に訪れた国について調べ学習を行い、協力隊の方から直接現地の様子を聞き、世界の現状について学び、国際理解に関する学習の基礎とすることができた。また、「世界一大きな授業」や「もし世界が132人の村だったら」といった国際理解に関する体験型の学習も行い、遠い世界で起こっていることではなく、身近に感じることもできた。また、校地内にある金沢くらしの博物館に行き、金沢に伝わる伝統的な遊びや昔の生活の様子について知ることができた。

2年生では金沢に伝わる様々な伝統工芸について調べ、体験で直に触れることで、伝統を守る心を育むことができた。また、環境に関する学習として、金沢市の環境政策課の方に来校して頂き、金沢市の環境政策に関する講演を行い、金沢の現状と課題について学ぶことができた。

3年生では金沢出身の偉人である八田與一について映像を通して学習した。また、金沢の姉妹都市について調べ、姉妹都市の国際交流員の方や北陸大学の留学生との交流を通して、金沢と外国とのつながりや関わりについて直接学び、金沢の良さを発信することができた。金沢から世界を見つめ、そして、世界の中の金沢を考えるよい機会となった。

## ③ 生徒会に関わる活動

ユネスコスクールとして生徒自身が自分たちに何ができるかを考えて、ESDを推進するために様々な活動を生徒会執行部や各委員会が主体となって行った。毎年行うことで、生徒や保護者、地域の方々にもこの運動は根付いてきている。



委員会活動や生徒会執行部が連携しながら、ESD関連の活動を行った。委員会独自の取り組みによって、より多くの生徒たちがESDに関わり意識することができた。

委員会	ESD活動内容		
生活	あいさつ運動	体育	あいさつ運動、除雪活動
保健	エコキャップ運動	図書	ESD関連図書の紹介
美化	石引クリーンキャンペーン 落ち葉拾い 節電・節油キャンペーン	報道	ESD活動のレポート ESD関連記事

### ・あいさつ運動

生徒会執行部や、常任委員会、学年の総務会を中心に朝、玄関であいさつ運動を行っている。今年度も生徒会を中心に校下の小立野小学校の玄関や街頭で、小学校と合同であいさつ運動を行い、小中一貫教育を踏まえた取り組みを充実させた。

・KOBプロジェクト

KOBとはKeep Outskirts Beautifulの頭文字をとったもので、「地域を美しく保つ」という意味のもと、日頃から学校を支えてくれている地域の方たちとの絆を強く感じながら、清掃活動を行っている。

具体的な活動内容は、夏休みに辰巳用水の清掃、通学路のゴミ拾い、お年寄りのお宅や近くのお寺を訪問し、庭の落ち葉拾いなどである。単に清掃活動を行うだけでなく、地域の方や日頃の生活に感謝することを目的としている清掃活動である。小中一貫教育の取り組みとして、小立野小学校へ赴き、小学生たちと一緒に清掃活動を行い、小中間の絆を深めることができている。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> ④ コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> ② 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間を主たる学習の時間とし、ESD学習、金沢ふるさと学習を行っている。教科及び道徳特別活動との連携を意識し、それぞれの時間で身につけた知識や技能を関連づけることにより相乗効果を上げ、生徒に確かな学力をつけることを目的としている。さらに、持続可能な社会の担い手としての意識を育み、自ら考え、行動することができる生徒を育成する。

金沢について学び、考え、関わり、発信するための体験的な学習を充実させ、金沢の良さ、自分の思いや意見を世界に発信できるコミュニケーション能力の育成も図る。

金沢市の中心部に位置する利点を活かし、美術館、図書館、裁判所等への校外学習等を積極的に取り入れる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初に、職員向けのESD校内研修を行い、生徒会主催でユネスコスクール集会を開催し、職員、生徒すべての共通理解に努めている。夏休みには、全校生徒でKOB活動に取組んでいる。

10月に行われる飛梅祭に向けて、それぞれがESDについて考えながら活動を行い、その集大成として発表を行う。

年度末には取り組みの成果と課題を洗い出し、来年度に向けた教育課程編成に活かし、それを職員全体で共有する校内研修も行う。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

金沢ふるさと学習を通して各学年において、ねらいをしっかりと、本校のESDの柱である「伝統文化」「環境」「国際理解」について学ぶことができた。飛梅タイムにおいて、生徒自身が主体的に考え、ESDに関してさらに深く学び、行動することができた。KOBプロジェクトなど、すでに本校の取り組みとして定着している活動に加え、生徒会執行部を中心として希望者を募って小学校へ出向いてのあいさつ運動を行うことができた。地域の方々と同じ目的を持って共に活動する中で、絆の深まりを感じることができ、今まで以上に地域を大切にする気持ちが育まれている。

(2) 課題

生徒アンケートの結果を見ると、学校生活において当たり前活動していることや行動していることがESDの取り組みとなるものが多いのだが、それに気付かずにいることが多いので、如何にして周知するかが課題である。今後もユネスコスクールとしてESDを推進していくために、さらに教員の間で理解を深めながら、生徒にどんな力や価値観をつけたいのかということ、そしてそれらをどのような方法で育んでいくかについて考えていかなければならない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

金沢市の学校地域サポーターと連携し、講師の依頼や、地域の公民館に生徒の作品を展示している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

大学からの留学生の派遣、青年海外協力隊の方の体験談など。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

今後検討する。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

生徒の感想から、「活動は大変だったが、新しい発見や体験がたくさんできた。」といった内容が多かった。発表の場である飛梅祭についても、「緊張したがしっかり発表できた。準備をがんばってよかった。」と、肯定的な内容であった。また、地域の方に様々な点で参加していただき、地域とのつながりを深めることができた。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

4月～6月は金沢ふるさと学習を中心に、1年生は国際理解基礎、2年生は環境基礎、3年生は金沢の偉人について学習する。

7～10月の総合的な学習の時間（水曜3・4限）週2時間、1～3学年の生徒が伝統文化（伝統芸能）、自然環境、国際理解の3分野に分かれ、地域の外部人材（外部講師）を招聘し、実技指導を中心に体験型学習活動を展開する。

伝統文化（伝統芸能）では、地域に伝わる上野町餅つき踊りや伝承あそび、能、太鼓、和菓子づくりなど。自然環境では、金沢城周辺の環境や辰巳用水など。国際理解では、英語劇や金沢姉妹都市理解などを学習し、10月末の飛梅祭（文化発表会）で、それぞれ体験学習をした学習内容を舞台発表し、互いの学習成果を披露する。